

第三者評価結果概要版（通所介護【デイサービス】）



○基本情報

法人名	社会福祉法人正吉福祉会
事業所名	高齢者サービスステーションいなぎ正吉苑
所在地	稲城市平尾1127番1号
連絡先	042-331-2001

○事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）

- 1) わたくしたちは、二十一世紀における地域に根ざした福祉社会の新たな進展と多様な福祉文化の創出に積極的な役割を果たします。
- 2) わたくしたちは、利用者が、住みなれた地域での生活が続けられるよう、共に支え共に生きる地域福祉のまちづくりに寄与します。
- 3) わたくしたちは、利用者が、尊厳をもって、自分らしく自立した生活が送れるよう保健、医療と福祉を総合した支援に努めます。
- 4) わたくしたちは、利用者個人の尊厳が守られるよう、利用者の自己決定と選択を尊重し、利用者本位のサービス提供を目指します。
- 5) わたくしたちは、地域に開かれた経営とサービスの質の向上に努め、利用者やご家族が満足される価値ある「正吉苑」を創ります。

○全体の評価講評（特に良いと思う点）

【地域の広いニーズに対応するように自立度の高い方から重度・終末期の方まで受け入れる体制が整えられています】

地域のニーズや利用者・家族の要請に応えるために、重度や終末期の方を受け入れる方針を立て、ケアマネからの依頼に柔軟に対応し、緊急の場合にも書類を早急に準備するなどの体制を整えています。例えば退院後自宅で最期を希望された方の「通っていたデイサービスに行きたい」との希望を聞き取り事前の打ち合わせを重ねて対応した事例や、痰吸引が必要な方への対応に見られるように、看護師との綿密な情報収集や栄養・リハビリとの連携の他、介護職員も対応の仕方を看護師から学びながら体制を整え、利用者の希望に沿ったサービスを提供しています。

【利用者の在宅の自立やニーズに十分に伝えるように食事・排泄・入浴・機能訓練・趣味活動の支援内容を工夫し提供するように努めています】

利用者の自立した在宅生活の継続を支援し、その人らしい生活を実現していただくために、介護職員の小さな変化への気づきを大切にしながら関係する専門職員と連携して支援しています。例えば栄養から食に対するアドバイスの提供や一人暮らしの方へのサービス利用時の看護による健康管理、機能訓練指導員と相談しながらリハビリを進め、施設での個浴でまぎの練習を重ね、個浴から一般浴という段階を踏みながら在宅での入浴に取り組んだり、トイレでの座位や動作練習を重ね自立排泄に繋げた事例など、自立した生活に向けての支援内容を工夫しています。

【利用者サービスのプロセスや主要な業務を全職員が適切に実施できるように、必要なスキルアップや業務標準化が図られています】

業務を適切に実施できるよう、通所業務チェックリストを活用し日常業務を振り返る機会を作っています。チーム会議では、介助・支援手順の根拠や理由を理解することで、状況に応じた柔軟な対応ができるよう振り返りを行い、さらに利用者とのコミュニケーション能力や心身状態の変化を見逃さない観察力、危険予見能力の向上を図るための知識や技術を学習しています。ヒヤリハットや不適合の報告があれば議題にして意見交換を行い、朝・夕の申し送りでも詳細を全職員に伝えているなど、業務を適切に実施できるよう能力向上と標準化が図られています。

○全体の評価講評（さらなる改善が望まれる点）

【機能訓練・アクティビティを利用者が自ら運用するような工夫によって、さらに主体性や積極性を発揮できるような支援が期待されます】

機能訓練を含めたアクティビティ活動について、利用者は朝の会で多様なメニューの中から自分で選択し参加しています。また利用者の中から麻雀やカラオケ、カードゲームなどやりたい事を発案し、互いに誘い合って自発的に活動をする場面も見られています。しかし重度化対応など幅広いニーズに対応していくことで、利用者が主体的に目標を明確にして機能訓練に取り組んだり、趣味活動で企画や運用などにそれぞれの力を発揮する場面が縮小されている点も見受けられます。今後利用者がさらなる主体性や積極性を発揮できるような支援が期待されます。

【連携事業部との目指す姿やサービスの中で、自事業の特徴や支援の効果などを地域へ積極的に発信し、認知度を向上させることが期待されます】

施設全体の活動内容を地域の方々に知っていただく機会として、併設の特別養護老人ホームが取り組んだ看取りケアと当事業所も関係する地域包括ケアの考え方についての発表会を一昨年行われ、今年度も実施の予定です。今回は、より多くの方に知ってもらえるよう地域の社会福祉士や民生委員の方々にも声掛けするなどインフォメーションを充実させる計画です。当事業所や関連する拠点の事業所の目指す姿や連携サービスの中で、事業の特徴や提供サービスの効果などを地域へ積極的に・効果的にアピールすることで、認知度を向上させることが期待されます。

【利用者支援の成果や利用者の状態を適切に家族・関係事業所へ提供することで、関係性をさらに深めていくことが期待されます】

実施チェック表や経過記録を振り返り利用者の変化を把握し、通所介護サービス計画実施評価表にまとめて、継続、修正、削除、追加の評価を関係職員が行っています。評価表には、介護、看護、栄養、機能訓練の欄を設けそれぞれの専門職員が記入し、チーム会議等で職員全員で検討したうえでサービス計画の更新が行われています。計画とサービス実施の関係性の理解を深めているので、今後、利用者支援の効果である評価表を活用し、利用者支援の成果や利用者の状態を適切に家族・関係事業所へ提供するなど、関係性をさらに深めていくことが期待されます。

○利用者調査結果

有効回答者数	55人
利用者総数	95人

	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答・非該当
1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	78.0%	18.0%	いいえ:1.0% 無回答・非該当:1.0%	
2. 食事の献立や食事介助は満足か	85.0%	7.0%	どちらともいえない:3.0% 無回答・非該当:3.0%	
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	80.0%	10.0%	7.0%	いいえ:1.0%
4. 利用中の楽しい行事や活動があるか	54.0%	21.0%	12.0%	10.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動・リハビリは、家での生活に役立つか	76.0%	16.0%	いいえ:3.0% 無回答・非該当:3.0%	
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	83.0%	9.0%	5.0%	いいえ:1.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	90.0%	3.0%	3.0%	無回答・非該当:1.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	89.0%	5.0%	いいえ:1.0% 無回答・非該当:3.0%	
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	67.0%	7.0%	23.0%	いいえ:1.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	89.0%	7.0%	1.0%	無回答・非該当:1.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	81.0%	12.0%	いいえ:3.0% 無回答・非該当:1.0%	
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	87.0%	7.0%	5.0%	いいえ:0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	78.0%	16.0%	いいえ:1.0% 無回答・非該当:3.0%	
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	78.0%	10.0%	9.0%	いいえ:1.0%
15. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	54.0%	16.0%	7.0%	21.0%